

令和 6 年度 第 1 回矢作川水系総合土砂管理検討委員会 議事概要

日時：令和 6 年 10 月 10 日（木） 15 時 00 分～17 時 10 分

場所：TKP ガーデンシティ PREMIUM 名古屋新幹線ロバンケットホール 3 A (WEB 併用)

【議事】

1. 開会挨拶
2. 配布資料確認
3. 委員紹介
4. 委員長挨拶
5. 議事
 - 1) 矢作川水系総合土砂管理計画策定の手順（報告）
 - 2) 矢作川水系総合土砂管理の検討経緯（報告）
 - 3) 矢作川水系総合土砂管理計画の策定方針（審議）
 - 4) 矢作川水系総合土砂管理計画（第 1 版）策定後の土砂管理の進め方（審議）
 - 5) 矢作川水系総合土砂管理計画（第 1 版）素案の概要（審議）
6. 閉会

【議事要旨】

- 1) 矢作川水系総合土砂管理計画策定の手順
矢作川水系総合土砂管理計画策定の手順について、事務局から説明。
- 2) 矢作川水系総合土砂管理の検討経緯
矢作川水系総合土砂管理の検討経緯について、事務局から説明。
- 3) 矢作川水系総合土砂管理計画の策定方針
矢作川水系総合土砂管理計画の策定方針について、事務局から説明。

各委員からいただいた意見は以下のとおり。

- ・ 本計画の矢作ダムの平均年流入土砂量は約 15 万 m³ と理解しているが、実際には年変動や気候変動の影響により土砂量が増加することがあり得る。毎年土砂量は変動することを記載するとよい。
- ・ 掘削土砂の有効活用については、第 2 版からの記載になっているが、現在の有効活用方法を示したうえで、今後の有効活用方針を記載するとよい。
- ・ P18 のイメージ図では、ステージ 3 で河川還元土砂量を急激に増加するイメージになっていることから、ステージ 2－2 の段階で河川還元土砂量に幅を持たせ、様々な状況に

対応できるような図にするとよい。また、山地河川・発電ダム領域や河川領域などの各河道区間で土砂量の状況がイメージできるとよい。

- 4) 矢作川水系総合土砂管理計画（第1版）策定後の土砂管理の進め方
- 5) 矢作川水系総合土砂管理計画（第1版）素案の概要

矢作川水系総合土砂管理計画（第1版）策定後の土砂管理の進め方及び、矢作川水系総合土砂管理計画（第1版）素案の概要について、事務局から説明。

各委員からいただいた意見は以下のとおり。

- ・堆砂対策WGと河道環境WGの検討事項は重複する部分が多いことから、コアメンバーを同じにしたり、同時開催するなど連携して進められるようにするとよい。
- ・矢作川水系総合土砂管理計画（第1版）素案骨子（以下「素案骨子」という）P17の置土量やP18の停止基準は土砂の粒径により異なる。矢作川水系総合土砂管理計画（第1版）においては幅を持った数値で示すなど、表現を工夫したほうがよい。これらの内容については、今後、技術検討WGで議論しながら決めていく内容である。
- ・素案骨子p11の矢作川の土砂収支は、矢作川水系総合土砂管理計画（第1版）策定後の検討につなげるため、計算条件等を記載するとよい。
- ・素案骨子に対する意見については、1か月をめどに委員からの意見聴取を行い、委員長に対応方針を確認した上で修正を行う。
- ・流砂系協議会での意見も重要である。意見に対して修正内容があれば委員会に報告されたい。

以上